

国際宇宙ステーション日本人宇宙飛行士候補者基礎訓練におけるロシアでの
一般サバイバル技術訓練（夏期水上）について（報告）

平成11年6月23日
宇宙開発事業団

国際宇宙ステーション搭乗日本人宇宙飛行士候補者に対する一般サバイバル技術訓練（夏期水上）を黒海沿岸及びロシア・ガガーリン宇宙飛行士訓練センター（以下、GCTC）にて実施することについて報告する。

1. 経緯等

- (1) ISS に搭乗する宇宙飛行士候補者の基礎訓練は、各国際パートナが国際間要求文書の共通訓練要求に基づき実施することとなっており、一般サバイバル技術訓練（夏期水上）の実施も要求されている。
- (2) ロシアでの一般サバイバル技術訓練を含む基礎訓練の実施計画は、第6回宇宙開発委員会（本年2月10日）にて報告し、了承を得た。
- (3) 現地調査及びGCTCとの協議の結果、今回の夏期水上訓練の内容について合意に至った。

2. 実施内容

- (1) 訓練対象：古川聰搭乗部員及び星出彰彦搭乗部員
- (2) 実施場所：ロシア・ガガーリン宇宙飛行士訓練センター、黒海沿岸等
- (3) 実施内容：表1の通り
- (4) 実施期間：平成11年7月2日（金）より7月9日（金）まで（8日間）

表1 訓練項目（概要）

No.	項目	時間	備考
1	水上サバイバル訓練(講義)	4	救命器具操作等の講義（GCTC等）
2	水上サバイバル訓練(実習)	17	救命器具操作訓練、カプセル脱出後の救命訓練（黒海の船上及び海上）等
3	パラシュート訓練(講義)	4	パラシュート器具操作等の講義（GCTC）
4	パラシュート訓練(実習)	8	本訓練ではパラシュート器具操作、着地、着水訓練だけを行い、航空機等からのパラシュート落下は行わない。
5	訓練ブリーフィング等	8	GCTC等
合 計		41	

以 上